



大北地区 賛助会報

NO. 143号

平成31年 1月18日

(公財)長野県長寿社会開発センター
大北地区賛助会 発行
大町保健福祉事務所 福祉課
☎0261(23)6507

12月末 賛助会員数 大北地区 160名・県全体 2,766名



謹賀新年

会員皆様のご健勝と

ご多幸、お家のご繁栄を

ご祈念申し上げます。

今年もよろしくお願

い致します。



年頭のご挨拶

大北地区賛助会長 伊藤 甚弼

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。
会員の皆様には輝かしい、多幸き新年をお迎
えのこととお慶び申し上げます。

昨年、会員の皆様のご協力で予定いたしま
した行事が無事消化できましたこと、
厚く御礼申し上げます。

さて、賛助会もシニア大学発足と同時に
活動が始まりましたので三〇有余年が経ち、
発足時とは高齢者の数、また、その環境も
大きく変わってきております。

特に高齢者の割合が、その時代と比べて
数倍の数になってきております。その為に、
それぞれの時代の人達が趣味、また、目的を
中心としたグループが、自分達の居場所を
作り活動しております。

賛助会は、シニア大学との繋がりが非常に
強いわけであり、シニア大学在学中に
できたグループは、そのまま賛助会で活動で
きる体制が必要と思えます。

今年、会員を増やす活動を皆さんと一緒に
進めるべく、皆さんから積極的なご意見を
いただき「魅力ある活動を図る」所存です。
年頭にあたり会員各位のご多幸とご健康
をお祈り申し上げ新年のご挨拶と致します。

平成30年度 会員講座が開催されました【10月22日(月) 10時～11時30分 於) 合庁】

《講座内容》 ～ 戦国期活躍した二人の武将 ～ 『仁科盛信と佐々成政』について
《講師》 荒井 今朝一 先生 (大町市教育長)



60名を超える皆さんにお集
まりいただきました。

★仁科盛信と言えば
(高遠城の戦い???)

★佐々成政と言えば
(さらさら越え???)

諸説、自説を逸話も交え懇切
丁寧にご講義いただき、新た
な戦国武将像に触れることが
できました。

～～ 会員講座を受講して ～～ ★★ 大北地区賛助会 大町グループ 酒井 周一郎さん ★★

講師の荒井教育長さんには、当初の平成23年から「豪族仁科一族について」の講演を戴き豊富な資料を基に講演を願い、当初の賛助会 会員講座の担当を不詳私がしており、毎年お忙しい中、講演をして戴きました。

大北地方の成り立ちは水系を中心にして集落が結成されたとの事です。その後、荘園が出来、それらを統治する仁科氏が現われました。

今回の講演は「戦国期活躍した二人の武将、仁科盛信と佐々成政」で時代を経過して武田信玄が長野県南部を中心に治め、仁科領は信玄の五男、仁科の五郎盛信が仁科領を治めると同時に高遠城主になりました。その後、武田家滅亡の際は伊那谷を攻めてくる織田信長の長男、信忠の軍勢を一手に引き受けて戦い一族全員が討ち死にしたと伝えられております。

高遠城の桜の色は討ち死にした一族の血の色とも言われています、又、仁科盛遠の子孫の仁科森政が永禄10年、仁科盛政起請文が上田市の生嶋足嶋神社に保存されており、その貴重な資料説明がありました。この時代の武田家は武田勝頼の時代になっており、天目山田野で一族が討ち死にし滅亡しました。

続いて大町には古くから伝えられている佐々成政の伝説について話がありました。富山城主の佐々成政が厳冬期の黒部の谷や針の木谷を越え大町の大姥堂の大姥尊像を祭って浜松へ行ったとの伝説があります。佐々成政は、なぜ真冬の北アルプス越えをしたか、当時、佐々成政は豊臣秀吉と敵対しており浜松の徳川家康に会う必要に迫られていたといわれています。しかし、その後は秀吉と和睦しております。アルプス越えは、成政が財宝を壺に入れ針の木岳周辺に隠したとの伝説もあります。

厳冬期の北アルプス越えは、黒部の谷、針の木谷等、雪崩の巣と言われ狭い谷での雪崩の場合、避難の場所がなく実質通行不可能と思われれます。教育長さんのルート（上高地、焼岳ルート）が私も若い時、山の会に属し冬山も経験した経過からして考えられる最適のルートと思われれます。そうなる昔から伝わる大姥堂の話と大変、矛盾してくるわけです。教育長さんの話は豊富な資料に基づき話をしており、長年の研究の成果であり敬意を表すると共に長年の講演に対し、そのご苦勞に感謝を表したいと思っております。

大北地域タウンミーティング2018が開催されました

【11月7日（水）13時30分～16時 於）合庁】

～タウンミーティング2018に参加して～ ★★ 大北地区賛助会 池田グループ長 倉嶋 住男さん ★★

11月7日開催されたタウンミーティングには、12団体が参加しました。それぞれのブースの代表から具体的な活動についての紹介と勧誘や募集が行われました。2時間半という限られた時間ではありましたが、各ブースを訪問して質問する時間もあり、各方面でシニアの皆さんが頑張っている生の話を聞くことができ参考になりました。

賛助会、池田グループは、数年前に会員の高齢化に伴い、会員の減少が進みしばらくの間、休会しましたが、シニア大卒業の34・35期生が中心になり再編いたしました。組織の活性化には、会員にとって「魅力ある活動」であると考えてテーマを①社会貢献活動②体力づくり③文化・創造④仲間づくりの4項目を掲げて出来る活動から始めています。

地元で開催されるイベントを中心に▼地域の史跡を巡り、歴史と文化を学び▼相道寺焼き陶芸教室での創作▼健康づくりでは、山桜ウォーキング・街中散策・紅葉トレッキングに参加▼社会貢献では、特養老人ホームに継続訪問して施設手入れ、バラ園とハーブガーデンの植栽と手入れのボランティア▼仲間づくりでは、食事会・マレットゴルフ・研修会を行って親睦を深めています。

魅力ある楽しいグループを目指し、女性会員が多いので女性の良さと力を発揮してもらい、組織の輪をひろげていきたいと思っております。

終わりに、このタウンミーティングを通して賛同いただき、池田グループに入会して頂いたシニア大2年生の皆さんに感謝を申し上げます。ありがとうございました。

大北地域タウンミーティング 2018

「あなたの出番がここにある！ 地域があなたを待っている！」

当日、7名の入会がありました！

何か地域でできる活動を始めてみたいシニアの皆さんと、実際に活動している様々な団体やグループが一同に集まり交流することで、新たな出会いやそのきっかけづくりとなるイベント「タウンミーティング」を開催しました。

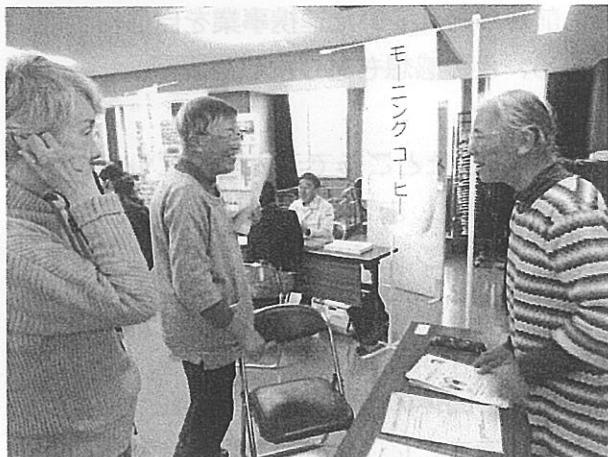


出店は大北地域や安曇野市から12ブース。居場所、自治会活動、ボランティア、農業、就労、福祉、地域づくり等、多岐にわたります。メンバーを募集して活動の幅を広げる団体、地域に新しい取り組みが広がるよう活動を紹介する団体と目的はそれぞれですが、一様に熱い思いで活動をされる皆さんが集いました。



団体の紹介が終わった後、参加者は各ブースに足を運び、話を聞きました。

「遊びに来とくれや」(団体の活動先に)
「どこでやってるだい？」
こんな気軽な会話から、活動の説明を聞き、質問や感想をはさみながら会話がはずみます。



会場は皆さんの熱気に包まれ、
「いい活動だね」
「私もやってみたいな」
そんな声が、あちこちから聞こえました。



参加者は、いいね！と感じたことや、心を動かされたこと等を付箋に書き、団体ののぼり旗へ張っていきます。



中にはその場で団体に入会された方や、活動の見学に行こうと決めた参加者もいらっしゃいました。

出店の団体間でも交流があり、連携が出来そうだ、前から考えていた連携事業を自信持って進めれる、との感想もありました。

ひと段落したところで「大町おどり」を参加者全員で体験しました。(講師はゆずり葉の会さん) 動きはシンプルですが、続けると少し息があがる、心地よい運動量でした。

最後に、団体ののぼり旗に沢山張ってくださった付箋をもとに、全体でまとめをしました。

皆さんからいただいた感想をまとめると、こんなことが分かってきました。



活動は人が持つ「思い」からはじまります。それは「心のこもった」活動に繋がり、「楽しさ」や「仲間」を育むことでそこが「居場所」になり、それは地域の「交流の場」となります。



「関心」のある活動に参加するには、まず「ノリ」が大事！という感想もありました。「特技」は活動を始める強みになります。また、始めてからでも「学びや講習」で必要な知識や技術を身につけることができます。

ある出店団体から参加者への呼びかけです。「勇気ある参加は人生を変えることができる」皆さんも興味のあることから動き始めてみませんか。

<出店団体> 順不同

○楽喜(ラッキー)クラブ

○ゆずり葉の会

○国営アルプスあづみの公園

大町・松川地区 公園サポーターの会

○安曇野ちひろ公園 サポート隊

○細野集落営農組合

○花フェスタ 2019

(第 36 回 全国都市緑化信州フェア実行委員会)

○(株)セブン-イレブン・ジャパン

○北アルプス広域シルバー人材センター

○長野県長寿社会開発センター

大北地区 賛助会

○地域おこし協力隊

北アルプス地域サポーター

(北アルプス地域振興局)

○大北地域

社会福祉協議会・地域包括支援センター

○モーニングコーヒー

<参加者> 93 名



中信地区賛助会懇談会が開催されました【11月22日(木)10時～15時30分 於)松本合庁】

午前、木曽地区・大北地区・松本地区賛助会の「課題と提言」について議論されました。
午後は、マレットゴルフで大いに懇親を深めました。



課題と提言の会義での白馬 Gr 松沢さん



マレットで爽快な汗を流しました

～中信3地区賛助会懇談会に出席して～ ★★ 大北地区賛助会 大町グループ 大西 彰子さん ★★

昨年11月21日、松本合庁に於いて中信地区賛助会懇談会が開かれました。大北地区からは、12名の参加でした。

午前中は、本部からの説明報告の後、各地区から課題と提言が発表されました。どの地区からも課題にあげられたのは、会員の高齢化による減少、賛助会のメリットや魅力が説明出来ない。本部への提出書類の処理が煩雑で高齢者には負担になっていること。会費や交付金の問題が…。

また、提言としては、シニア大学生に賛助会の存在を徹底させる為、シニア大のカリキュラムの中へ賛助会の説明を設けて貰う。賛助会員への事務処理の簡素化も以前から提言していたことが未だに解決されていないので是非、実行して欲しい。

高齢化している中での役員選出にも困難を強いられている現状です。事務処理は、特に簡素化等を考慮して対応して欲しい旨を改めて本部へお願いして午前中の部を終了しました。

限られた時間の中で本部からの発言、説明の時間が長く会員の懇談の時間が短く終わってしまった事が残念に思われました。

昼食は、松本地区会員のもてなしの漬物等を頂き、午後の部の懇親マレットゴルフ場へ移動しました。穏やかな晩秋の陽ざしの中で他地区の会員と取り組み、指導を受けながら時には、冗談混じりの話題も増え楽しくゲームをして閉会となりました。殊に会費と交付金の取扱いについては、内容もしっかり解釈しないまま納めていた事には、反省する点もありました。

勉強させて頂く機会に参加する事が出来良い一日を過ごす事が出来ました。

【お願い】

平成31年度

長野県シニア大学大北学部の学生募集について

期 間:2月1日(金)～3月15日(金)

【イベントのお知らせ】

春のスポーツ交流会 スマイルポーリング

日時:3月15日(金) 10時～12時

場所:大町市 平公民館 講堂

友人、ご近所の方へ

「シニア大学への入学のお誘い」を
お願いいたします!

大勢の参加を

お願いいたします!

シニア大・賛助会の仲間を求めて！

～～ シニア大学・賛助会への入学、入会の動機 ～～

★★★ 大北地区賛助会 地区賛助会報担当 吉澤 篤さん ★★★

病院や街中で認知症と思われる人に出会った時、あの人もなりたくてなったのではなく家庭環境や年齢と共に身体に変化が生じたのだらうと思いつつ「一度の人生なのに」と気の毒に思えた。

それに人間は単に年齢を重ねるだけでは老いることなく、夢や希望を失った時に老いるのではと思うようになった。現に我々よりずっと高齢者なのに年齢よりずっと若く拝見する先輩に出会うことがある。自分も体力の衰えない内に俗に言う身体の運動・頭の体操を心掛けることの必要性を感じたのが動機の最大の要因である。

平成16年、職場を定年退職した折に今迄、通勤中は家庭の犠牲はともかく地域の役員は近隣の勤務場所の時代には対応した事もあったが単身赴任生活をした時には、お引き受けすることも叶わなかった事もあり、当然のことながら今迄、対応出来なかった集落や地域の団体役員も仰せつかり家族や仲間の支えを頂きながら対応してきました。

集落、地域の役員も一段落した頃、前述のごとく毎日曜日（サンデー毎日）で家にゴロゴロしていたのでは「ボケ」てしまうのではないかとの思いと勧めもあり、平成26年にシニア大学へ入学し班の仲間やクラブ活動での交流等、様々な出会い触れ合い学ぶ機会があり、平成28年卒業と同時に地区賛助会に入会し、家庭に閉じこもってばかりいないで社会活動をしなが外に出ることをモットーに現在に至っています。

白馬地区賛助会の活動は地域の抱える課題や福祉施設で求められるボランティア活動を中心に社会活動をしています。

【平成30年度の実施した活動】

- ①福祉施設に於けるボランティア
草刈り・車椅子拭き（6月）
落ち葉片づけ（12月）
- ②登山道周辺（猿倉）の美化活動（8月）
- ③セイダカアワダチソウの駆除（10月）
- ④福祉施設の仲間との交流会（8月・12月）



自分一人では、増々高齢化していく社会に順応していけるか心配である。今迄、お世話になった地域の為に自分達の活動が少なからず役立つ事を信じてやって行きたいと思えます。

平成30年、流行語ベスト10に入ったNHK番組のチョコちゃんの「ポーっと生きてんじゃねーよ！」を脳裏に刻み、これからの人生を送りたいと思えます。

